

江田島市 観光振興ビジョン

概要版

令和7(2025)年度 >>> 令和11(2029)年度

ビジョンの概要

① ビジョンの期間

本ビジョンの期間は、令和7年度から令和11年度までの5年間です。なお、近年の観光分野を含む社会情勢の急速な変化に合わせ、必要に応じて計画を見直ししながら取組を進めていきます。

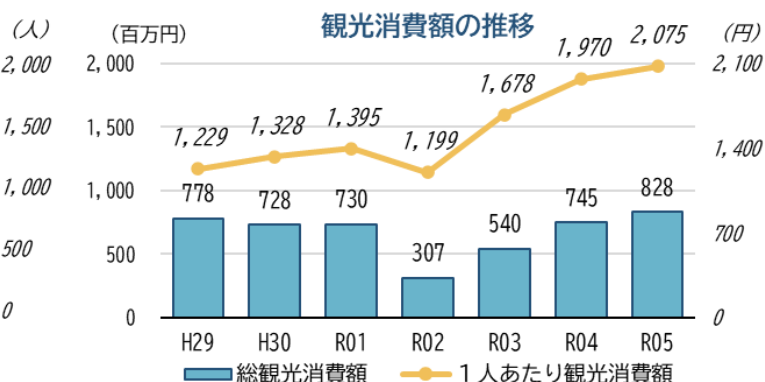
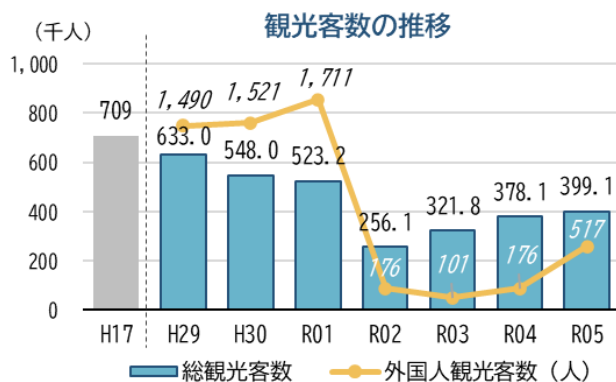
② ビジョンの目的

本ビジョンは、江田島市の観光の方向性を明確に示し、市民、事業者、行政など、観光に関わる全ての人が共通の認識の下、市全体が一体となって観光施策を推進することを目的としています。この目的を達成するため、改めて江田島市の観光ターゲットを定め、そのターゲットに焦点を当てた施策を中心に展開していきます。

江田島市の観光動向

国や県では観光客数がコロナ禍前の水準を上回る勢いで増加している一方、江田島市では、いまだ十分とはいえない状況です。

県外客や宿泊客が少ないことで、1人あたり観光消費額が、県(7,829円)に対して、2,075円と非常に低くなっています。



江田島市観光の方向性

江田島市への来訪のきっかけをつくり、観光を「産業」として育成することにより、新たな雇用を生み、江田島ファンや観光の担い手を増やします。

次に掲げる4つの分野ごとの方針により、観光振興のエンジンを回し、好循環を生み出すことで、江田島市の観光活性化を図ります。



A. 来訪のきっかけづくり

a 観光プロモーションの強化	①独自に発信する情報の充実	● 観光パンフレット、マップ、ポスターなどの、観光ツールの充実 ● 市、観光協会などの観光ウェブサイト、SNS による観光情報の充実 ● イベントやキャンペーン等を活用した情報発信の強化 ● 観光協会、商工会、JA等の関係機関と連携した情報発信の強化
	②ターゲットを意識したメディア活用の強化	● マスコミとの情報連携体制の維持・充実 ● マスコミ向け観光情報の企画検討 ● インフルエンサーの活用と連携の強化 ● 観光客や市民に対する SNS 等で拡散されるネタの提供 ● ロケ地・ゆかりの地としてのエリア活用と聖地巡礼を促す情報発信 ● デジタルマーケティング等によるターゲットに向けた情報発信
b 近隣自治体からの導線づくり	①観光客の多いエリアからの誘客強化	● 近隣自治体や有名観光地での江田島市観光情報の提供の充実 ● 近隣自治体観光地とのストーリー連携の強化 ● 近隣自治体と連携した観光キャンペーンの実施 ● 集中する宿泊者の分散を目的とした自治体間連携の強化
	②インバウンド向け情報発信の充実	● 多言語情報発信ツールの充実 ● 市、観光協会などの観光ウェブサイトの多言語化 ● インバウンド客に好まれる観光コンテンツの集約 ● 周辺自治体と連携した広域インバウンド誘客の実施
c 団体旅行の誘致	①修学旅行や研修旅行の誘致	● 学校向け情報提供ツールの充実 ● 学校等への営業活動の強化 ● 旅行エージェントと連携した団体旅行の企画 ● 団体で宿泊できる施設や教育や研修に活用できる施設・体験に関する情報発信

B. 観光人材・組織づくり

a 観光に関わる人材発掘・育成	①観光振興の担い手発掘	● 観光関連事業に関する起業及び事業拡大支援 ● 観光関連の人材募集支援 ● 観光ガイドやプログラム提供者の養成 ● 地域おこし協力隊など外部人材の活用 ● 若者(学生等)のプロモーション活動参画等の観光事業体験
	②観光従事者の育成	● 市観光対応マニュアルの作成 ● 観光従事者研修の実施 ● 観光先進地の事例共有
b 組織体制の充実・強化	①観光組織体制の充実	● 観光協会の体制強化支援 ● 観光事業を担う地域団体との連携
	②組織間連携の強化	● 観光事業関係者同士の定期的な情報交換の場の確保 ● テーマに沿った事業者や組織同士での連携事業の実施
c 広域での受入態勢強化	①広域観光の連携強化	● 近隣自治体との情報共有の強化 ● 混在を回避できる宿泊地としての受入連携体制の構築 ● 航路を活用した近隣連携の強化

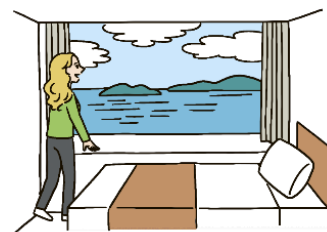


C. 観光推進のための環境づくり

a 受入環境の整備	①観光客の利便性の向上	● 交通拠点への土産物の集約 ● 無料 Wi-Fi スポットの提供による通信環境のエリア改善・高速化 ● AR 技術を活用した案内表示看板等によるアクセシビリティの向上
	②観光施設の整備	● 観光拠点となる特産品販売所や文化遺産等の整備・充実 ● キャンプ場、海水浴場、景勝地、登山道等、自然を生かした観光施設の充実 ● 観光事業者の観光施設等のリニューアル支援 ● 能美海上ロッジ跡地の活用検討
b 周遊環境の整備	①2次交通の充実	● 2次交通としてのレンタサイクル・レンタカー(シェアサイクル・シェアカー)の充実 ● 観光におけるタクシー利用の推進支援
	②観光客の周遊促進	● もうひとつ観光地に立ち寄りたくなる「立ち寄りプラス ONE」キャンペーンの実施 ● 観光地(施設)同士をつなぐ導線づくり ● 道路の適切な維持管理

D. 観光商品とその魅力づくり

a 魅力ある観光コンテンツの造成	①観光コンテンツの充実	● えたじまものがたり博覧会の充実 ● 既存イベントの観光活用及び新規観光イベントの企画支援 ● 民間事業者への観光コンテンツ造成支援 ● ホテル、民泊、シェアハウスなどの宿泊機能の充実 ● 夜、お酒、早朝等を絡めた、宿泊につながる観光コンテンツの造成
	②商品、土産物の開発	● かき、オリーブ、柑橘等、特産品の通年提供の実現 ● 女性、若者等、新たなターゲットを意識した新商品開発支援
b 高付加価値化・多言語化	①高付加価値化の推進	● 島、瀬戸内等をテーマとした、江田島市ならではの体験・交流コンテンツの開発 ● 文化・歴史等をテーマとした、江田島市ならではの体験・交流コンテンツの開発 ● 民間船舶を活用した宮島周遊ツアー等のコンテンツの開発 ● 無人島等を活用した貸切コンテンツの開発
	②多言語化の推進	● 各事業者への多言語メニュー表や指差しガイドの導入支援 ● 多言語案内看板の設置・更新 ● 外国人向けの土産物の開発

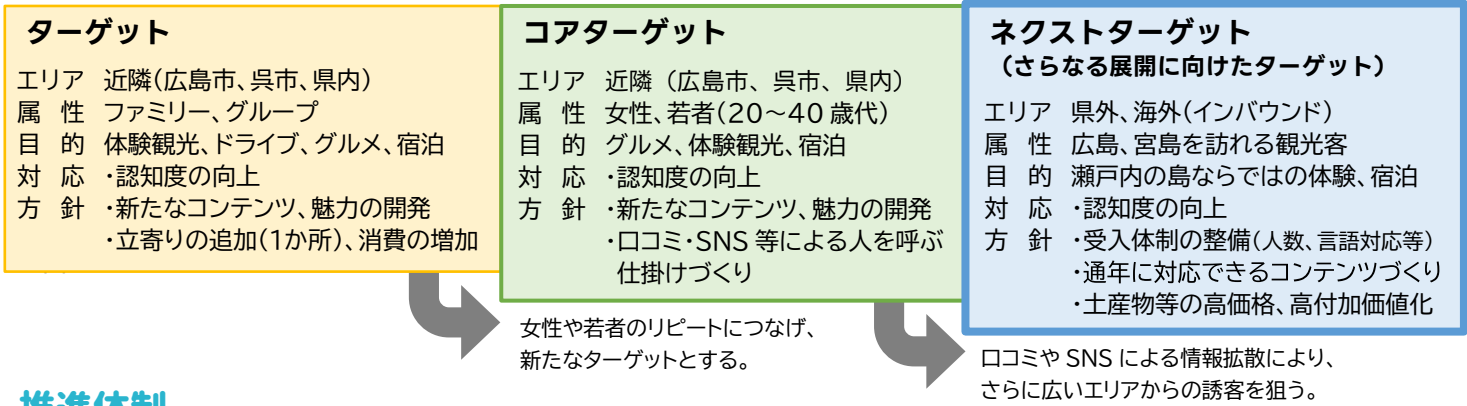


数値目標

観光を「産業」として育成するには、今、低い状況にある観光客数と観光消費額の向上を図る必要があります。よって、本ビジョンでは、観光客数、観光消費額及び宿泊客数の向上を目指し、次のとおり数値目標を掲げます。

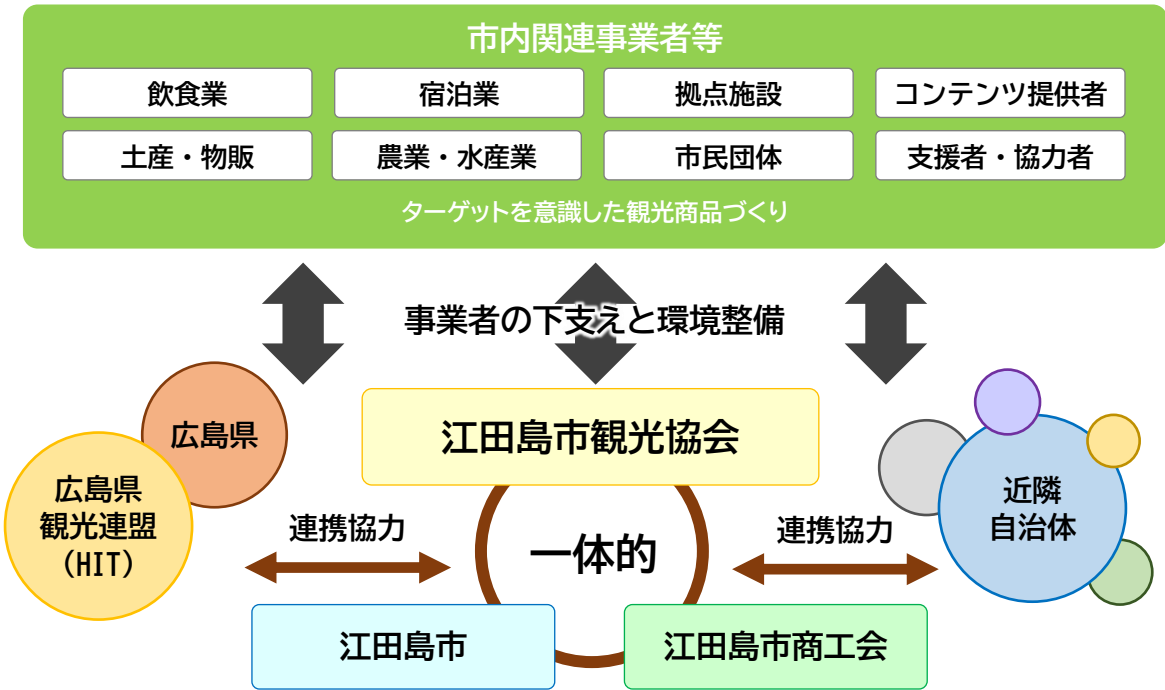
指標	数値目標（令和 11 年）	現状（令和 5 年）	備考
①総観光客数	65 万人	39.9 万人	過去最高：70.9 万人（H17）
②宿泊客数	16 万人	9.8 万人	過去最高：15.5 万人（H19）
③ 1 人あたり観光消費額	3,700 円	2,075 円	過去最高：2,075 円（R05）

ターゲット設定



推進体制

効果的な観光施策を推進するため、観光協会を主体とし、市、商工会、市内関係事業者、県観光連盟、近隣自治体等が連携を図り、地域が一体となって取り組んでいきます。



江田島市観光振興ビジョン【概要版】

